



このメンバーで全道大会へ挑みます（北檜山区）

北檜山剣道連盟Aチームがみごと優勝 6/15

6月15日（日）、上ノ国町夷王山キャンプ場において「第18回全檜山少年剣道大会」が開催され、北檜山剣道連盟（伊関寿之会長）Aチームがみごと優勝しました。Aチームの選手は、5月18日黒松内町で開催された「第23回黒松内町少年剣道大会」の個人の部においても優勝・準優勝を獲得するなど大活躍。このメンバーで8月17日札幌市で行われる「第50回全道赤胴少年剣道錬成大会」に挑みます。尚、この模様は8月下旬、H T Bテレビで放送される予定です。

◎優勝した北檜山剣道連盟Aチーム／関谷大翔（北小6年）、浅沼奏絵（北小6年）、井原巧太（北小6年）、千葉さつき（北小5年）、高松龍平（北小6年）

20周年記念にふさわしくバージョンアップ（北檜山区）

2年ぶりの「浮島公園まつり」盛大に開催 6/22

6月22日（日）、北檜山区愛知地域の手づくりのお祭りとして親しまれている「浮島公園まつり」が開催されました。公園整備のため2年ぶりの開催となった今年は、駐車場やトイレのほか、新たにステージも完成し、第20回記念に相応しくバージョンアップ。函館からのツアー客なども詰め掛け約1,000人の観客で賑わいました。会場では、地元産「ほしのゆめ」のおにぎりの無料配布のほか、特産のサフォーク肉やとれたてイチゴ、新鮮野菜、ツブ・ホタテなどが販売されました。ステージでは、郷土芸能や歌謡ショーなどが行なわれ、観客はきれいに整備された会場でジンギスカンやサフォークの焼き肉などを楽しみながら拍手を贈っていました。



海の安全と大漁を祈って（大成区）

太田神社例大祭が開催されました 6/27-28

6月27日、28日の2日間大成区太田地域において太田神社例大祭が開催されました。北海道最古の歴史を誇る山岳霊場太田山は総距離700m弱、標高およそ400m弱で最もきつい傾斜は48度もある山道です。

今年も大成まちづくり会議のメンバー5人が白装束に身を固め、海の安全と大漁を祈って御山掛けが行われたほか、大漁旗をなびかせ海上を渡御する漁船群は壮観そのものでした。

特設ステージでは郷土芸能や歌謡ショー、花火大会でにぎわいました。毎年恒例の太田神社例大祭を終えると、今年もまたせたなは夏本番をおかえます。

第40回全道サッカー少年団大会（瀬棚区）

せたなで函館地区予選大会開催 6/28-29

6月28日（土）、29日（日）、「道新スポーツ旗・北電カップ 第40回全道サッカー少年団大会函館地区予選大会」がせたな町三杉球場（瀬棚区）で開催されました。

函館予選地区予選大会は8ブロック（全34チーム）で行われ、そのうち2ブロック（全9チーム）が三杉球場を会場に白熱した試合を行いました。せたな町からは「せたなジュニアF C」が出場し見事予選を1位通過し決勝トーナメントへ進出しました。

せたなジュニアF Cは、決勝トーナメントでは残念ながら1回戦で敗退してしまいましたが、予選大会では地元の応援をうけ大健闘しました。





園児の優しさにじ〜んとききました（大成区）

大成保育園児が長生園を慰問 7/3

7月3日（木）、七夕の日を前に大成保育園小鳥組（年長）11名の園児たちが長生園のおじいちゃん・おばあちゃんを慰問しました。

手遊びの歌を2曲披露し、あまりの可愛さとスピードアップのテンポに歓声があがり、七夕様の歌をみんなで歌うと拍手がわきおこり、おじいちゃんおばあちゃんにとってはとても楽しい時間でした。

みんなでお願ひ事をしながら笹に飾りつけをして、お別れの挨拶では、手遊びの歌のアンコールでおじいちゃん・おばあちゃんも練習しました、これから長生園でもやるそうです…また園児達が来園するのを楽しみに待っててくださいね！

善意に感謝いたします（北檜山区）

城ヶ端建設㈱による海岸清掃 7/5

7月5日（土）、城ヶ端建設株式会社（城ヶ端政次社長）によって太櫓海水浴場で清掃活動が実施されました。同社は社会貢献活動として、これまで町内公園の清掃や草刈りなどを行なってきましたがその一環として今年は、キャンプ場としても年々利用者が増えている太櫓海水浴場の海岸清掃を社員、作業員総出で実施。空き缶やペットボトルなど4トントラック2台分ものごみを拾いました。



今年で16回目（北檜山区）

“一平会”による魚道清掃実施 7/6

7月6日（日）、町内の釣り愛好者でつくる一平会（伊瀬智会長）主催の魚道清掃が北檜山区太櫓の良留石川（らるいしがわ）に設置された魚道2箇所で行なわれ、会員のほか水産指導所職員、道立水産ふ化場職員、檜山支庁職員、漁業関係者、道南の魚道研究会の会員、建設業者、役場職員など約70人が参加しました。参加者は胸付姿にスコップなどを使い、清流に棲む多くの魚たちの生息環境を守るため、魚道内の土砂や流木などを取り除き、緑が色濃くなった渓谷で爽やかな汗を流しました。作業後行なわれた交流会では、ジンギスカンを囲みながら魚道の維持管理のあり方や砂防ダムの必要性などを語り合いながら交流を深めました。

ひやま漁協瀬棚支所女性部による（瀬棚区）

“地産地消”料理教室が開催されました 7/6

7月6日（日）、瀬棚町民センターにおいてひやま漁協瀬棚支所女性部による「“地産地消”料理講習会」が開催されました。

当日は、札幌市で居酒屋の店長をされてる鈴木明氏（今金町出身）を講師に招き、地元でとれるヒラメ・ホッケ・イカを使った料理6品の作り方を教えていただきました。参加した皆さんはどの食材もあますことなく使って、ひと手間加えるだけで美味しい料理ができることを教えていただきました。

